



特許願
(2000円) 昭和48年 6月29日

特許庁長官 三宅 幸夫 殿

1. 発明の名称

紙かむつ

2. 発明者

住 所

特許出願人と同じ

3. 特許出願人

住 所

東京都中央区京橋3の5竹岡ビル
〒100 東京都中央区京橋3の5竹岡ビル2丁目5番4号

氏 名

神 田 善 二

4. 代理人

住 所

東京都中央区京橋3の5竹岡ビル
電話 361-3762

氏 名

(5510) 弁護士 野 沢 隆 秋

5. 添付書類の目録

- (1) 明 細 書 1通
- (2) 図 面 1通
- (3) 発 明 書 1通
- (4) 願 書 副 本 1通
- (5) 特許料納付書 1通



方式 ②
審査

⑩ 日本国特許庁

公開特許公報

⑪ 特開昭 50-21845

⑬ 公開日 昭50.(1975) 3. 8

⑫ 特願昭 48-74226

⑭ 出願日 昭48.(1973) 6. 29

審査請求 有 (全3頁)

庁内整理番号

⑮ 日本分類

7030 35

121 N5

明 細 書

1. 発明の名称

紙 か む つ

2. 特許請求の範囲

紙かむつ本体が、透水紙、絹より成る防水体と不織布等より成る通水性の減湿体、フィルムより成る防水体で構成され、かゝる紙かむつ本体の下半分を上半分上に折り重ねると共に下段両端を内部に折り込み、できた2個の折り込み部片のうちの下部片を上半分に覆着して外側をかむつカバーの形態とした事を特徴とする紙かむつ。

3. 発明の詳細な説明

本発明は紙かむつの改良に関するものである。

近時小児に衛生的、かつ快適なかむつを要求するため、母親は看護婦が、汚れたとき清

便に吸収いができるために紙かむつの耐用が多くなつて来たが、従来はその使用の際かむつ支柱品、すなわちかむつカバー等を使用し得るの煩瑣を防ぐようにしている。

従つてその使用形態は従来の紙かむつを使用するのと全く従りがない。

本発明は折る煩瑣を廃除するためになされたもので、紙かむつ本体が透水紙、絹等より成る防水体と、不織布等より成る通水性の減湿体と、フィルムより成る防水体で構成され、かゝる紙かむつ本体の下半分を上半分上に折り重ねると共に下段両端を内部に折り込み、できた2個の折り込み部片のうちの下部片を上半分に覆着して外側をかむつカバーの形態とした事を特徴とし、使用を簡単にすると共にかむつ支柱品と共に、あるいはこれ無くして単独でも使用し得るよ

ようにしたものである。

以下本発明の実施例を図面について説明する。1は紙かむつ本体で、吸水樹脂の重合体より成る吸水体2に、不織布より成る透水性の接触体3とポリビニールアルコールの重合合体のフィルムを防水体4として重合し、接触体4の両端部5a、5bを吸水体2と接触体3の間に折込み、これらの重合部分を両面が凹凸の加熱ロールにより加圧して接合6a、6bし、次で両端を前記同様凹凸の加熱ロールにより加圧して接合7a、7bしたものとし、かむつ本体の上半分8a、下半分8bを二つ折りして重ね、かつその下半分8bの上端部を上半分8aの上端部より少し内側とし、次で下端両端を内側に折り込み、できた2個の三角状折り込み部片9a、9bのうち、下部の折り込み部片9b

除去したうえで下半分8aの防水体4面に貼着させて面着するものである。このようにして面着すると、図6aで示すように小児の皮膚面はすべて接触体3面と接することになるので不快を感じることはないし、又下端部分は三角状の折り込み部片によつて紙状を形成しているので該部分にちょうどお尻が位置するので面着が容易であり、かつ両面の褶りともなつて外部への漏れを防止する役目をなす。従つてかむつ用品時外の支持具を使用したり、パンツ等を使用したりしてもよいが、かむつ半強で充分使用し得る。

尚、下端両端部の折り込み部片9a、9bのうちの一方の部片9bの上半部8a面への面着は三角状全体を面着してもよいし、図面に示すように部片9bの上端部において面着してもよい。

特開 昭50-21845 の

を上半分8a面に接合し、その外膜をかむつ力により一枚に形成して成るものである。

尚、10a、10bは上半分8aの上端両端に附設した糊層紙の貼着片で一端を防水体4に貼着して形成されている。また前記吸水体2は、図2aに示すように吸水樹脂の重合体を両端部分を少なくして中隔とするために例えば中心部分を改裁、上下を1〜3枚程度とし、上下両端部も同様とする。そうするとかむつ本体1の形成時四周の接合が充分に行えるし、使用時に便利であるし、使用者に不快感を与えない利点がある。

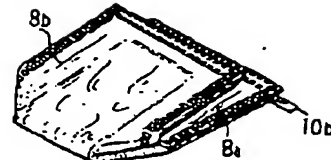
本発明による紙かむつの使用は図6aに示すように下半分8bを捻じ、上半分8aを小児のお尻の下に介装し、次で下半分8bをかむつの上に重ね、上半分8b両端の貼着片10a、10bを糊層紙を

また吸水体は吸水紙のみによることなく両面は吸水紙と布を共用してもよく、更にかむつ本体はその素材を高圧水、または薬品により溶解し、液体により溶解し得るものを使用したものを含むことは勿論であるし、上半分と下半分の組合は実施例のように貼着片による外、クリップ、結び紐によるもよく、結び紐を使用する場合には外れないように適宜無所に輪套を附設するとよい。

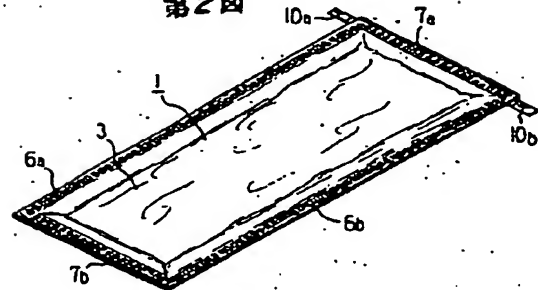
4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施の一例を示し、図1図は側面図、図2図乃至図5図は形成順序を示し、図3図はかむつ本体の側面図、図4図は図2図A-A線の横断拡大断面図、図5図は二つ折状態を示す側面図、図6図は図4図にかいて下端両端を内側に折り込み、折り込み部片の一方を

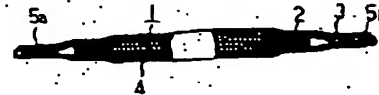
第1図



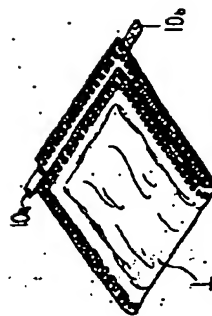
第2図



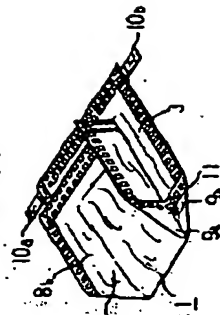
第3図



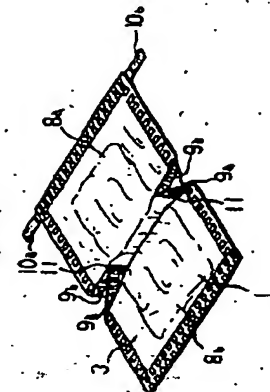
第4図



第5図



第6図



最前した状態を示す断面図、才6面は使用のため展開した側面図である。

1-紙のむつ本体 2-防水体 3-通気体
4-防水体 5a、5b-通気口 6a、6b-通気口
7a、7b-通気口 8a-上半分 8b-下半分
9a、9b-折り込み部片 10a、10b-粘着片。

代理人弁護士 野 沢 隆 秋

BEST AVAILABLE COPY